



コロナ禍での新しい宴席様式

NEW NOMAL PARTY

レセプタントの必要性

はじめに

2020年2月より新型コロナウイルスの蔓延により世間は自粛傾向、そして経済の流れは止まりました。

2年が過ぎ、新型コロナウイルス関連の倒産企業は約3,000件を超え、現在でも飲食・サービス業は苦しい状況にあります。

現在よりワクチンが広まり、以前のように戻ることには期待はありますが、消費者の安心を得るにはもう少し時間がかかるかもしれません。我々バンケットサービス業は皆様が安心して宴席を開催できますように、感染対策の観点など有識者の情報を元に新しい宴席様式をご紹介します。

レセプタントの役割

宴席での感染対策として、レセプタントは大きな役割を果たします。

感染症対策の観点からみてもレセプタントが入ることにより、ビンやグラス、サーバートング、取り箸に触れる人が限られれば、感染のリスクは激減します。その他、レセプタントの役割としてお客様の移動の際の消毒・マスク着用の促しなど、これらの役割効果は感染症有識者も推奨しており、安心して宴席を行うことができるツールとして認められております。



さいごに



私どもはパーティーを社会の中でかせないと考えております。お取引先との情報交換、商談、心のふれあい、コミュニケーションの最適の場として安心安全にパーティーを開催できるよう日本バンケット事業協同組合は徹底した感染対策を心掛けることをここに誓います。

